活力ある学校づくりを推進します

教育委員会では、児童生徒一人一人が個性を発揮し、豊かな人間性や基礎・基本を身に着け、「生きる力」を育むための学校づくりを推進しています。

○主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図り、一人一人の学力を伸ばすとともに、道徳性を養い、相手を尊重する態度など豊かな人権感覚を育成します
○柔軟性・筋力など基礎的な体力向上を図ります
○一人一台の学習者用端末を活用した効果的な学習を行うとともに、情報モラル教育を推進します
○教育相談体制の充実を図り、早期解決に取り組みます
○保護者・地域・学校で、いじめの早期発見・対応に努め、いじめの解消率100%を目指します
○感染防止対策を徹底し、職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動など、豊かな体験活動を充実します
○小学校から中学校への接続を円滑化するため、小学校と中学校の連携を進めます
○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、ふるさと意識を醸成します

問合せ 教育指導課指導担当　内線 262

市民参加の文化財保護制度「白岡遺産」を創設します

市内には、豊かな歴史文化を物語り、白岡市民として誇りたい文化財が数多くあります。文化財や景観なども含めた関連文化財群を一体的・総合的に守り伝えていくために、現在策定中の「白岡市文化財保存活用地域計画」に誰でも関連文化財群を提案できる仕組みを盛り込み、「白岡遺産」という名称で守り伝えていく準備を進めています。

制度創設の目的は、「地域の文化財を地域の手で守る」気風づくりです。後世に伝えたい、守りたい身近な文化財を一定のルールに従って提案できる仕組みを想定しています。

「白岡遺産」を提案しようとする市民は、複数の市民から成る保存団体を組織し、活動内容や文化財の保存活用方法などの具体的な「事業計画」とともに申請します。

「仮称・白岡遺産保存活用市民会議」は、「白岡遺産」の認定や文化財の保存・活用を取り込んだ地域おこしに資する事業提案を行う組織として、市民からの提案を発展させ、地域づくりにまで高めます。

市では、市民が行う提案申請事務などの支援や保存に関する助言を行うとともに、指定文化財や関連文化財群などとの関係などについて文化財施策に反映させ、行政として必要な支援策を検討します。

問合せ 学び支援課文化振興担当　内線 523

「学校応援団」で子どもたちの支援活動に参加しませんか

市内10校の小・中学校では、保護者や地域のかたがたに、登下校の安全指導や学習支援、清掃や整備活動、読み聞かせなど、「学校応援団」の活動にご協力いただいています。

これらのほかに、花壇づくりや伝統芸能の体験学習など、ご協力、ご支援いただけるものがありましたら、ぜひ学校にご連絡ください。

問合せ 教育指導課指導担当　内線 262

子どもの読書活動を推進します

市では、今年3月、次代を担う子どもたちが、自主的に読書に親しみ、豊かな人間性を育むことを目的として、「白岡市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

今後は、この計画に基づき、家庭、地域、学校などが連携して子どもの読書活動を推進していくため、子どもが楽しみながら本と触れ合うことができるさまざまな事業を推進していきます。

ブックスタート

問合せ
学び支援課学びあい図書館担当
内線526

教育に関する相談に応じています

児童生徒や保護者をはじめ、学習、進路、不登校、いじめ、子育てなどについてお気軽にご相談ください。

面接相談と電話相談を受け付けています。

教育支援センター

問合せ
教育相談室　☎0480(92)1070
教育支援センター　☎0480(93)6850

放課後子ども教室を実施します

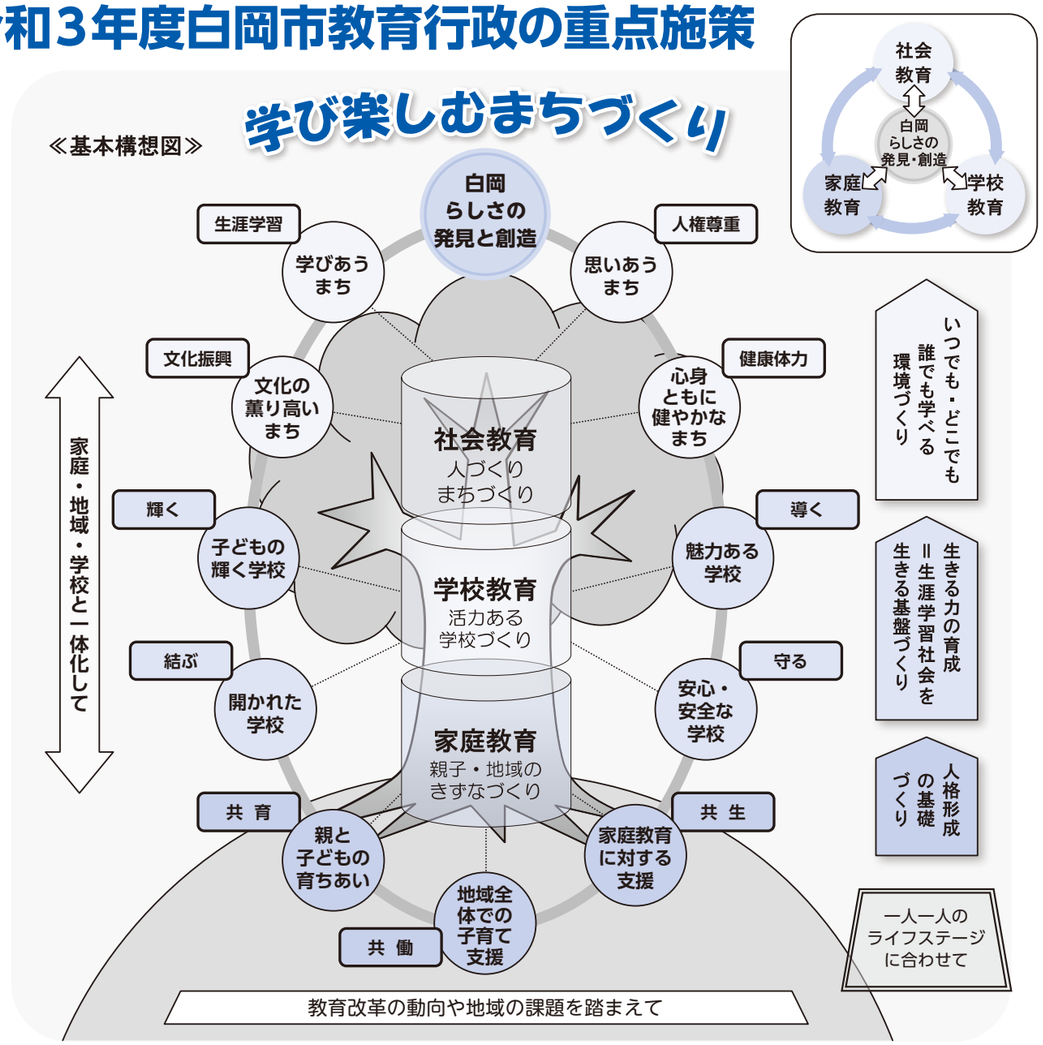
令和3年度から菁莪小学校で放課後子ども教室を実施します。

放課後や学校の休業日に小学校などの施設を使用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、学習活動やさまざまな体験・交流活動の機会を提供することを目的とした事業です。

学校や地域のかたがたと連携を図りながら、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに成長していく環境づくりを推進していきます。

問合せ
いきいき教育課家庭地域連携担当　内線272

令和3年度白岡市教育行政の重点施策



こころ豊かな教育の発展を目指して

長島教育長

白岡市教育委員会教育長の長島秀夫です。

教育委員会では、「学び楽しむまちづくり～白岡らしさの発見と創造～」を基本構想とした『第2期白岡市教育振興基本計画』に基づいて、教育の発展のため、より実効性のあるものを目指し今年度も取り組んでまいります。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響から学校及び社会教育施設の休業を余儀なくされ、学びを継続するために試行錯誤の一年でした。

しかしながら、この危機に対応することでまた新たな一歩を踏み出し魅力ある事業を実施してまいります。

学校教育におきましては、新しい学びの形として GIGA スクールが始まりました。児童・生徒に一人一台の学習用端末配付を含む、ICT 環境を整え、子どもたちの情報活用能力の育成や創造性を育む教育の実現を図ります。

また、大山小学校が小規模特認校として新たに位置づけられました。小規模であることの利点を活かし、子ども一人一人にきめ細かい指導のできる学校づくりを支援してまいります。

社会教育におきましては、令和2年度に「子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。今後はこの計画に基づき子どもの読書活動の推進を図ってまいります。また、「文化財保存活用地域計画」につきましては、引き続き策定に向け取り組んでまいります。

家庭教育におきましては、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的として放課後子ども教室事業を実施します。菁莪小学校での取組を皮切りに事業を展開してまいります。

今後も、子どもたちはもとより市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、教育施策を推進してまいりますので、お力添えを賜りますようお願いします。